

第80回メーデー

第八〇回メーデーが五月一日、県内各地で開催されました。新潟市中心部では、陸上競技場と西大畑公園でそれぞれ多くの労働者が参加し開催されました。

西大畑公園での会場では、一〇〇〇名、陸上競技場での会場では、三〇〇〇名の労働者が、結集し新潟県知事・新潟市長からの来賓あいさつが、主催団体からのあいさつが、それぞれありました。

**なくせ失業と貧困、雇用を守れ！
すべての労働者の賃上げを！**

和太鼓で幕開け

西大畑公園で開催された、第八〇回メーデー新潟県中央集會では九時三〇分より和太鼓で幕開けし合唱団「樹」によるメーデー歌の合唱がありました。

中央集會では主催者あいさつ、来賓あいさつが続ぎ争議組合・国労・私教連・トンネルじんばいなどの紹介があり、闘いの現状が報告され、地本・守橋委員長は『国鉄闘争は解決に向けて前進している。政治解決に向けてご支援をお願いしたい』と訴えました

NO. 663
発行
09・5月17日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
守橋久仁雄
編集責任者
教 宣 部



雇用を守り すべての労働者の 賃上げ

来賓あいさつや各団体のあいさつでは、世界的な金融危機の中で雇用不安が増大している。契約社員など非正規労働者が解雇・雇い切れになっている。

大企業が溜め込んだ『内部留保』を吐き出させ、外需から内需拡大へ進め、すべての労働者の賃上げと安定した雇用の保障こそ最大の景気対策、それが、深刻な日本経済状況を打開しくこと。など、訴えていました。



素晴らしい五月晴れ デモ行進

メーデー新潟県中央集會実行委員会では、西大畑公園から東堀五番町までデモ行進を行いました。シュプレヒコールや、うたごえなどで、素晴らしい五月晴れの中多くの新潟市民へ訴えました。



地本組織拡大 経験交流集會の開催

6月14日(日)

新潟市「新潟会館」
13時30分から



安全問題の 地本 宣伝行動

4月24日、17時半から1時間、安全問題についての宣伝行動が新潟駅前で行われました。

宣伝行動では、『規制緩和』や競争の激化、営利優先により安全が脅かされている。国交省は、福知山線事故などの重大事故を受けて、ようやく法改正を行い『輸送の安全確保に関する義務付け強化』を行いました。

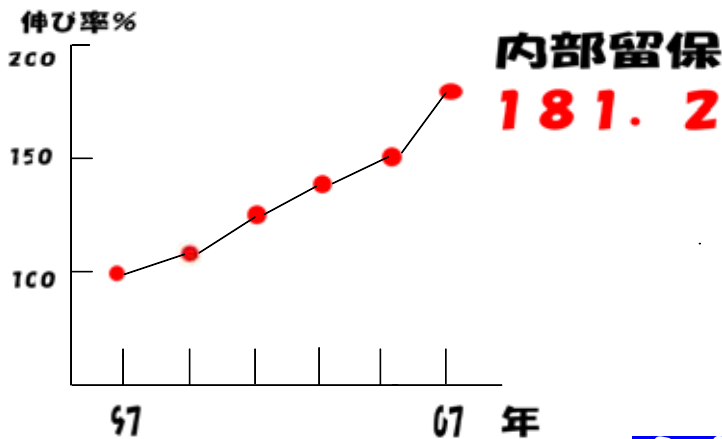
しかし、今の状況では不十分です。『駅の無人化』『ホーム要員の廃止』『外注化の拡大』など企業任せになっています。鉄道などをはじめとした輸送の安全は企業と行政の二重で確保していくことが重要です。

私たちは『規制緩和』の見直し・安全規制の強化と安全最優先の企業体質を作り上げていくことを強く訴えます。～など駅へ向かう市民に訴えました。



主張と提言

もうけ優先ではなく、安全を最優先とした経営を行うこと。
『規制緩和』を見直し、安全規制の強化を国と事業者で行うこと。
ホームでの事故根絶に向けて、ホーム要員の配置を行うこと。
低コスト主義を改め、安全に係る業務は、鉄道事業者の直営とすること。
安全・防犯の観点から無人駅をなくすこと。
安全確保のために労働条件・労働環境を抜本的に改める。



バブル崩壊

124兆円

1992年

228兆円

2007年

大企業の
内部留保の推移

大企業は 身勝手な リストラをやめて

社会的責任を果せ

トヨタやキャノンなどの大企業が先を争い『派遣切り』や『期間工切り』などで労働者を切り捨て、賃金を抑え込むのは、身勝手です。

これまで非正規労働者を使って大もうけをした上今後は利益が減りそうだからと犠牲を労働者に押し付ける、こんなやり方を続けていては、売り上げも落ち込んで悪循環をひどくするだけです。

大企業だけが大もうけする、政治と経済の仕組みを根本から転換させましょう。



裁判員制度の 仕組みと問題点

二〇〇九年五月から裁判員制度が始まります。
裁判員 制度とは、重大事件（殺人・強盗致死など）について、国民が裁判員として刑事裁判に参加する制度です。裁判員は、被告人が有罪かどうか有罪の場合どのような刑にするかを裁判官とともに判断します。通常は裁判官三名、裁判員六名で行います。
裁判員制度への参加については、国民の中に消極的な意見が多く、法律家の中でも賛否両論がたがわされています。